第4回千代田区特別職報酬等審議会 議事録

日 時：令和6年11月12日（火）午後4時00分～

場 所：千代田区役所6階 特別会議室

出席者：（委員）8名（定数9名 欠席1名：中村委員）

（区 側）区長

（事務局）政策経営部長、総務課長、総務課職員

発言者	発言内容
星野会長	<p>それでは、これより第4回報酬等審議会を始めさせていただきます。</p> <p>本日は、中村委員が欠席と伺っております。</p> <p>それでは、審議に入りたいと思います。</p> <p>本日は、区長への答申を予定しております。7月から始まりました本審議会第1回から3回までの議論を踏まえまして答申案を作成しましたが、事前に委員の皆様には答申案をお送りさせていただいたと思いますが、確認をお願いしておりました。特段修正等のご意見やご指摘はなかったと伺っておりまして、本日配られております答申案は最終案ということになります。改めて皆様にご確認いただきまして、これらの内容でよろしければ区長へ答申したいと考えております。本日もよろしくお願い申し上げます。</p> <p>それでは、まず最初に事務局から資料の説明をお願いいたします。</p>
総務課長	<p>はい。皆様、改めまして、本日はありがとうございます。よろしくお願い申し上げます。</p> <p>資料の確認をさせていただきます。クリップ留めの資料を座席に置かせていただいております。</p> <p>まず、上から資料の目次、1枚めくっていただきますとA3、Z折りの資料の1でございます。前回ご議論いただきました割合に修正したシートをおつけしております。続きまして、資料の2といたしましてホチキス留めの答申（案）をお配りしております。</p> <p>本日の資料は以上でございます。不足等ございませんでしょうか。ありがとうございます。</p> <p>それでは、資料のご説明をさせていただきたいと思います。</p> <p>まず、資料1をお願いいたします。こちらの資料につきまして、前回ご議論いただいて、少し、目に慣れてきてくださったかなと思っておりますが、1番の報酬・給料月額についてでございますが、第3回審議会のご議論の結果、部長級の単純平均改定率を乗じることとなりましたため、その旨、①の横のところですが、その旨明記しまして、数字のほうを改定率に乗じたものに変更させていただいております。</p>

続きまして、項番の 2、期末手当についてでございます。こちらは前回勧告の支給月数の引上げ幅を参考といたしまして、0.4か月の引上げとなっております。また、期末手当の支給回数及び12月の期末手当の取扱いについても右側のところに記載をしております。

続きまして、項番の 3、退職手当についてでございます。こちらは据置きということで変更はございません。

最後に項番の 4、審議会の開催時期についてでございます。こちらは今回の一連の議論の中で、社会経済情勢の変化に柔軟に対応していくために、毎年意見を聞く時期を設けて、3年に一度ではなく毎年にしたほうがよいとご意見を頂きましたので、その旨を記載しております。

続きまして、資料 2、答申案のほうをご覧ください。こちらにつきましては皆様に事前に郵送させていただきまして、内容をご確認いただきました。先ほど会長からお話がありましたとおり、特段ご意見は頂戴いたしませんでした。

簡単に内容をご説明させていただきます。表紙をおめくりいただきまして1ページ目の項番の 2、審議結果（結論）をご覧ください。諮問事項の 1つであります（1）報酬等の額の定め方につきましては、前々回に当たる平成30年10月の答申と同様に、社会経済情勢や他区の動向を特に勘案して報酬等の額を定めると記載しております。

また、期末手当の支給回数につきましては、民間企業およびその他団体との整合性を図る意図から、3月期末手当を廃止し、6月・12月期が均等となるように配分することが妥当であるとの結論を記載しております。

続きまして、諮問事項の 2つ目であります（2）報酬額の適否についてでございます。2ページ目の中段をご覧ください。報酬等月額につきましては、令和 4年から令和 6年の 3年間の特別区人事委員会勧告の一般職（行政職給料表（一））でございますが、こちらの改定率のうち、より職責の重い部長級（6級）の平均改定率を参考とし、現行の報酬額の額に加算すること。

また、②の期末手当につきましては、こちらも令和 4年から令和 6年の 3年間の特別区人事委員会勧告の支給月数の引き上げ幅。具体的には（令和 4年0.1か月引き上げ、令和 5年0.1か月引き上げ、令和 6年0.2か月の引き上げ）でございますけれども、こちらを参考といたしまして0.4か月引き上げまして、3.8か月から4.2か月とすること。

続きまして、③の退職手当につきましては、現状のまま据え置きといった結論を記載しております。

3ページ目に、改定額について金額を表でお示ししております。

最後に3ページの下の部分、「今後の報酬審議会について」といたしまして、「社会経済情勢の変化に柔軟に対応していくため、区議会議員

<p>星野会長</p>	<p>の議員報酬及び期末手当の額並びに区長、副区長及び教育長の給料等の額の適否について審議会の意見を聞く時期を、3年に1回から毎年に変えていく必要があると考える」と記載をしております。</p> <p>資料のご説明は以上でございます。</p> <p>はい。ありがとうございました。</p> <p>それでは、この答申の最終案についてでございます。既にご確認を頂いてはおりますが、何か追加的にご意見等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">（「なし」の声あり）</p>
<p>星野会長</p>	<p>はい。ありがとうございます。</p> <p>それでは、お認めいただいたということございまして、この答申文を確定というふうにいたしまして、区長へ答申したいと思いますが、よろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">（「異議なし」の声あり）</p>
<p>星野会長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、事務局が答申文をもう既に用意されていますが、これはもう修正しないでこのままということですよ。</p>
<p>事務局</p>	<p>そうですね。</p>
<p>星野会長</p>	<p>はい。</p> <p>ということなので、予定では4時半ぐらいにお渡しするという話なんです、しばしお待ちいただきたいと思います。</p> <p style="text-align: center;">（休憩）</p> <p style="text-align: center;">（星野会長から樋口区長へ答申書手交）</p>
<p>総務課長</p>	<p>では、すみません。大変お待たせいたしました。</p> <p>それでは、本審議会に諮問されました事項につきまして、星野会長から答申をお願いいたします。</p>

星野会長

はい。それでは、答申を説明申し上げます。

本審議会は、7月17日に区長から「千代田区議会議員の議員報酬及び期末手当の額の定め方並びに千代田区長、副区長及び教育長の給料等の額の定め方について」及び「千代田区議会議員の議員報酬及び期末手当の額の適否並びに千代田区長、副区長及び教育長の給料等の額の適否について」諮問を受けました。限られた日程ではございますが、4回にわたる審議を経まして、本日、区長に答申する運びとなりました。

報酬等の額の定め方については、前々回（平成30年10月23日答申）において、社会経済情勢や他区の動向を特に勘案して報酬等の額を定めるという考え方が示されたことを踏まえ、引き続き社会経済情勢や他区の動向を特に勘案して報酬等の額を定めることとしました。

また、期末手当の支給回数については、民間企業およびその他団体との整合性を図る意図から、3月期末手当を廃止し、6月・12月期が均等になるよう配分することが妥当であるとの結論に至りました。

報酬等の額の適否のうち、まず報酬等月額については、社会経済情勢の変化などについて、平成26年から令和5年の間の東京都名目賃金指数（現金給与総額）、東京都区部消費者物価指数、千代田区の人口・各年度全会計当初予算額・各年度全会計歳出決算額・地価公示価格及び特別区人事委員会勧告の状況等を確認しました。前回（令和3年12月13日答申）において、令和3年までの状況にもとづき審議したことから、今回は、特に令和4年以降の社会経済情勢の動向を確認しました。

当審議会の結論といたしましては、令和4年から令和6年の3年間の特別区人事委員会勧告の一般職（行政職給料表（一））の改定率のうち、より職責の重い部長級（6級）の平均改定率を参考とし、現行の報酬等の額に加算することといたしました。

次に、期末手当につきましては、令和4年から令和6年の3年間の特別区人事委員会勧告の支給月数の引き上げ幅を参考とし0.4か月を引き上げ、3.80月から4.20月とすることといたしました。

また、退職手当については現状のまま据え置きとすることといたしました。

最後に、今後の報酬審議会について、社会経済情勢の変化に柔軟に対応していくため、区議会議員の議員報酬及び期末手当の額並びに区長、副区長及び教育長の給料等の額の適否について審議会の意見を聞く時期を、3年に1回から毎年に変えていく必要があると考える旨、審議の過程で意見が出されたことを申し添えたいと思います。

以上が答申の趣旨でございます。区長をはじめ特別職の各位におかれましては、今後とも執行機関と議決機関が協力・連携し、さらなる千代田区の発展のため努力されることを期待するものでございます。よろしくお願い申し上げます。

総務課長	<p>会長、ありがとうございました。 それでは、答申を受けまして、区長からご挨拶を申し上げます。</p>
区長	<p>ただいま千代田区特別職報酬等審議会よりご答申を頂きました。誠にありがとうございます。</p> <p>年間で4回にもわたって精力的に会議を頂いたと。年間というより、この、特に半年間ですね、4回という中で、熱心にもご審議を頂いたと伺っております。星野会長をはじめ、様々なお立場から参画を頂いた委員の皆様には心から感謝を申し上げます。</p> <p>今回、今お話しいただきましたように、特別職の報酬あるいは給料等の額の定め方、額の適否ということのほか、こうした時期など、幅広くご審議を頂きました。先ほども、年間、毎年に変えていく必要があるんじゃないかというようなご指摘も頂いております。何分なかなか難しい課題であるかと思えますけれども、こうした地域の皆様のご意見を聞きながら、執行機関側、議会側と両輪になって取り組むものでありますので、皆様のご意見をしっかり拝聴しまして、尊重して取組を進めてまいりたいと思います。今後とも、区政にご協力、ご理解を賜りますよう、よろしくお願いいたします。</p>
星野会長	<p>よろしくお願いいたします。</p>
総務課長	<p>はい。以上で答申を終了いたしました。審議会も、これを持ちまして終了させていただきます。</p> <p>この間、委員に就任いただき、また、熱心にご審議いただきまして、ありがとうございました。ご多忙にもかかわらず、こうしてご協力いただきましたことに感謝申し上げます。</p> <p style="text-align: center;">— 了 —</p>